

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報

もーん父さんを
ゆるキャラグランプリで
入賞させた〜い!!



- 投票場所:ゆるキャラグランプリオフィシャルウェブサイト <http://www.yurugp.jp/>
- 投票期間:2014年9月2日(火)10時~10月20日(月)18時
- 2014年11月1日(土)~3日(祝・月) ゆるキャラ®グランプリ 2014 in あいち セントレア
- 内 容:身延町ブース出展&表彰式&決選投票

かの有名な「ゆるキャラグランプリ」。今年はインターネット投票+リアル投票の得票総数でグランプリを決めるのだそうです。(ネット投票結果は10月中旬発表予定)

インターネット投票締め切り時点で上位100キャラクターが発表されますが、上位100位までの入賞キャラクターは11月1日、2日、3日に開催される「ゆるキャラグランプリ2014 in あいちセントレア」会場での決選投票に参加出来るのです。リアル投票の1票はインターネット投票の1票よりも重い倍率をつけることが検討されている模様。会場で大逆転の可能性もあるそうです。ということで、もーん父さんを是非皆様のお力で上位入賞させてください!!!

金山博物館の教育プログラム推進と課題

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口一夫

国登録博物館である湯之奥金山博物館は身延町湯之奥地区に所在する国指定史跡・湯之奥（中山を含む・内山・茅小屋）3金山のガイダンス館として1997年4月に開館した。特に1988年から3年間に亘り、ふるさと創生事業として、町は財団法人山梨文化財研究所（帝京大学山梨文化財研究所）を中心に湯之奥金山遺跡学術調査団を結成し、考古学・民俗学・文献史学・鉱床学等々の切り口から、総合調査を実施、戦国時代（15世紀後半）に開発された初源期山金山（砂金に代わる金鉱石からの産金）の全容を明らかにした。その確かな歴史を伝える使命をもって、当館は博物館活動を18年間に亘り推進し、この間、有料入館者は32万人を迎える。

博物館展示は映像シアターで10分程、戦国～江戸期の時代背景を伝え、ジオラマ展示室では産金工程をジオラマと映像・約5分で紹介、産金時代年表を挟み、第1展示室では、湯之奥3金山遺跡の詳細な地形図、地形模型、日本の著名な金鉱石、発掘された15世紀後半の陶磁器類、わが国最初の4進法の貨幣制度に基づく甲州金（奥山家コレクション）などの現物資料を並べ、第2展示室では、砂金採掘に代わる初源期山金山の鉱山道具、江戸期の産金絵巻（岩手県金沢金山）に基づく作業工程の復元模型を配列、来館者に分かりやすく解説している。特に灰吹きなどのテレビ映像やクイズなどには来館者の多くが立ち止まっている。これらが常設展示の概要だが博物館活動はこれに留まらない。むしろ生きた教育プログラムが開館時から常設展と連動して続けられている。

「館だより」は、館の活動記録であるとともに対外的な博物館の広報活動として、多くのファンを獲得している。そうしたファンから一

般の方々まで、多くの方々で構成され、常に博物館を応援し、支えてくれている外部協力団体・湯之奥金山博物館応援団Au会からは、応援団だよりも発行され博物館との絆を深めているが、最新の情報や博物館活動の報告などがリアルティに紹介されているところに特色がある。

博物館活動は常設展+博物館イベントが両輪となって生涯学習効果をより高めているが、その点、当館の教育プログラム推進は大きな成果を上げている。その原動力は博物館スタッフの熱意と行動力、支える応援団のバックアップ。もとより博物館スタッフは現在、職員3（リーダー、専任学芸員、主事）に非常勤館長（学芸員）と臨時職員1が加わった少数である。繁忙期にはアルバイトが加わる。そうした中、一般的に子供たちの夏休みがスタートする時期に合わせて、博物館の夏イベントが開催される。化学実験教室、砂金掘り大会（一般大会と学生大会）、こども金山探険隊だ。

他館にない主な活動では、14回目を迎えた「砂金掘り大会」、「砂金甲子園! 第11回東西中高交流砂金掘り大会」などが挙げられる。例年1日で2大会を開催してきたが、今年は初の試みとして一般大会を1日目、学生大会を2日目という形で2日に分けて開催した。この事業は町（生涯学習課・観光課、職員有志）、応援団Au会が大会を支えてくれ、そこにイベントスタッフとしての研修を組み込みながら、峡南高校のインターンシップ研修生や学芸員実習生らの研修日程を夏事業に合わせ、就労体験研修を受け入れている。

こども金山探険隊では、今年も全国から15人の参加隊員と保護者加え40人以上を迎えた。初日は、標高1,400～1,500メートルの中山金山遺跡と1,700メートルの地蔵峠まで足を延ばした。世

界文化遺産登録を果たした富士山の威容を真横から望む企画。残念ながら今回は雲に覆われ、富士山の素晴らしい景観は見られなかったが、金山遺跡現地での学芸員の分かりやすい解説で、年少の隊員も楽しく学習できた。この事業も登山道の下見から始まり、隊員手帳（手のひらサイズだが中身の解説はスグレもの）や参加ワッペン^{の作成}など、事前の綿密な準備のもと、毎回フォローしていただいている磯野澄也氏ら山岳会の応援、応援団、生涯学習課、観光課、博物館スタッフOBらからの応援、町のマイクロバスの協力を頂くなど、多くの支援の中で、成功を取めた。2日目の灰吹き体験を含め全日程を消化した探険隊員には、古文書風のこども金山探検隊修了書「こども金山衆認定書」が一人一人に授与された。参加隊員の父兄からも、「参加してよかったです」、「大変勉強になりました」という声は圧倒的に多く、スタッフ一同ホッとする瞬間であった。

夏休みスタートから毎週連続で行っているこれらの事業は、館職員の非常なまでのエネルギーが使われるが、中でも、こども金山探険隊と砂金掘り大会は館の顔となったイベントである。しかし課題は、すべての事業が企画段階からの事前作業、準備、実施中のプログラムの円滑な推進、事後処理などの総合的な運営全般のチェックを、専任学芸員を中心に館の日常業務や事務処理を行いながら前述の少数スタッフで回していることだ。こうした努力の結果、この少人数スタッフの博物館と事業が維持されている。

この他、博物館イベントで人気なのが武田氏最大版図内金山の遺跡見学会。毎年ハイキングに最適な季節の秋口に行っているが町内や応援団員など主に大人中心に多くの参加者で賑わう。昨年は大月金山金山と上野原の秋山金山金

^{ざん}山、これまで遠方では愛知県津具金山や伊豆半島の諸金山へ足を延ばしたが、事前のコース下見、関係者との交渉、資料作りも全て専任学芸員が対応してきた。

学芸員は博物館内部の仕事（資料収集・保存・管理・調査研究・展示公開・活用など）のほかに、こうした各種プロジェクトに臨戦態勢で臨める素養が必修条件であり、加えて、来館者対応や地域住民との絆を深めていかなければならない重要な役割を担っている。

調査研究では、近年、茅小屋金山遺跡と内山金山の踏査が進められ、緊急雇用の予算で両金山の詳細な図面が完成、既に展示コーナーに反映されているが、その調査には常に専任学芸員が先導し、茅小屋、内山金山の踏査を繰り返し実施する中で、新たな坑道（採鉱域）やテラス域が徐々に解明されるとともに、鉱山道具の確認・記録も取られている。こうした地味な活動は展示に反映されており、来館者や東西中高交流砂金掘り大会（砂金甲子園）への参加生徒への学習にも大きく役立っている。

また、かつての公開講座も75回をもって終焉したが、それに代わる研究集会として応援団Au会主催の「砂金・金山遺跡研究フォーラム」が年1回開催され、全国から有志の参加で年々内容が濃くなっていることがうれしい。

こうした博物館の常設展示、教育プログラム推進の現状の課題として、専任の学芸員一人ではなく早急に二人目の専任学芸員の人材養成・後継者養成の必要性を痛感する。開館18年目を迎える金山博物館。これまでの流れを大事にしながら、未来へ向け更なる発展を遂げるためにも、関係者の皆様の博物館へのご理解をいただければ幸いである。

就労体験実習生 8月受け入れ人数は総勢26人!

今年の夏、砂金掘り大会から、お盆中までの約3週間の間に、博物館では総勢26人の研修生を受け入れました。それぞれ趣旨は様々な職場研修ですが、初めに来たのは地元・峡南高校では23人の生徒たち。少ない日で6人、最も多かった日は20人という大所帯での研修になりました。それぞれの生徒が5日間の実習に来ることが前提でしたが、全員欠席なく研修を終えました。次いで山梨英和大学より女生徒が1人、同じく5日間の就労体験にやってきました。そして、お盆中に学芸員実習生が2人、5日間の実習期間を終えました。

研修先として博物館は毎年各所から依頼を受けますが、大事なのは実習生自身が体験を通して何か得るも

のがあったかどうかです。そして、感じるべきものを伝えられたかどうかは研修先のスタッフの対応が大きく左右するところです。

さて、8月13日(水)～17日(日)、前述どおり2人の学芸員研修生を受け入れました。今年は東京工芸大学からの女子学生でしたが、2人とも通常接客業務に加えて、ゆるきゃらグランプリに関わる「もーん父さん」のPRサイトの立ち上げや、その他の裏方業務や本来の学芸業務などについて理解しながら、一生懸命業務に取り組み、5日間の学芸員研修を終えました。この研修について2人には今回原稿を寄せていただきましたので掲載します。

研修レポート①「博物館実習を終えて」

古屋 ひな子 (東京工芸大学)

私は5日間、甲斐黄金村・湯之奥金山博物館で実習をさせて頂きました。この博物館は小さい頃から何度も訪れたことのある場所です。小中学生の頃、よく夏休みの宿題をするためにお世話になっていました。なので実習に行ったらこんな感じなのだろうと想像していました。しかし実際に実習を行ってみると、想像以上に忙しかったです。やらなければならないことは常にたくさんあり、それに加えお客様の接客、少ない人数でそれらのことをしていくのは毎日大変なのだと思います。

実習中はお盆シーズンということもあり、お客様の対応をする時間が一番多かったです。その時間に学ぶものとはかくたくさんありました。実習2日目から実際に接客をさせて頂いたのですが、一番最初の接客はひどかったなと思います。お客様に言うべきことは簡単に頭の中に入っている、お客様という相手がいる以上、マニュアル通りとはいきません。来館されたお客様に気持ち良く過ごしてもらう。どうすればそれが出来るのか毎日考えました。何

回もアドバイスをもらい、どうにか5日目には形になったのかなと思います。お客様が「今日は来て良かった」「楽しかった」「ありがとう」そう言ってくれるたびに、とても心が温まりました。お客様のちょっとした一言からお客様の気持ちをとらえて、一人一人対応していく。そういった対応が「楽しかった」というお客様の言葉を生むのだと思います。

また子供への対応にも気を付けました。実習中に館長さんに「子供たちの居場所を作りたかった」という話をしてもらったからです。子供たちがまた来たいと思ってくれる、その地域に住む子供たちが気軽に遊びに来られる、そしてその子供たちが何年もたって町を出ても思い出してくれる、そんな博物館。私はとても素敵だと思います。

5日間、学校の授業でもアルバイトでも経験できない貴重な体験をすることが出来ました。実習は想像していたよりもずっと忙しく、想像していたよりもずっと学ぶことがあり、想像していたよりもずっとずっと楽しかったです。

研修レポート②「学芸員実習を終えて」

波多野 悠美 (東京工芸大学)

私は、この「湯之奥金山博物館」で学芸員実習をすることができて本当に楽しかったです。5日間があっという間でした。

実習は、新しく知ることばかりでした。学芸員という仕事は本当に大変で、やってもやっても次から次に仕事が尽きることなくやってくる…学芸員は予想以上の仕事をこなしているのだと知ることが出来ました。そして、湯之奥金山博物館

で博物館でも接客が大事だということを知りました。

まず、博物館の見学の際も学芸員の説明があって展示物を見るのと説明なしで見るとは全く違うということを知りました。説明をすることにより、文章で見るとより簡単に頭の中に入ることができ、そうすることにより、お客様の興味ももっと湧き、理解も深まり、楽しんでもらえるのだと見て感じました。他にも、体験の説明をわかりやすく伝

えることできっと楽しさが変わってくるのだらうと思いました。

本当にこの博物館の従業員、応援団の方たちも温かく、たくさんの方が協力してこの博物館が成り立っているということも知ることが出来ました。そして、来館されたお客様も展示・体験を通して、みなさん笑顔で帰られているのを見ました。こんなに多くの方が笑顔になって帰れる博物館は他にはなかなかないと思います。

こんな温かい場所で実習ができ、地元がここではない私も、甲斐黄金村・湯之奥金山博物館、そして身延町が大好きになりました。本当にありがとうございました。



峡南の研修生は選手としても運営スタッフとしても携わった博物館最大イベント「砂金掘り大会」。

おそらく多くの方が、「学芸員」と聞いたら「どんな仕事があるのかよくわからないけれど、博物館や美術館で展示の解説をしてくれる人」というようなイメージをお持ちではないでしょうか。

文部科学省では『博物館資料の収集、保管、展示及び調査研究その他これと関連する事業を行う「博物館法」に定められた、博物館におかれる専門的職員』のことを「学芸員」と位置付けています。そうした活動を通じて、文化的作品や、資料の持つ価値や意味を多くの人々に伝えていくことが大きな役割といえますが、実際には、その施設の規模は性格によって求められる業務はまったく異なるものです。少なくとも金山博物館の学芸員は“座って研究”していたのでは務まりません。それはどういう意味でしょうか。

実際、博物館にご来館くださるお客様をお迎えする観光面のサービス・接客業務、清掃を含めた環境美化、生涯学習施設としての教育事業、集客のためのイベント企画業務、学術施設としての調査研究業務、それらに伴う研究誌や機関誌の発行、さらにラジオ、テレビ、新聞などマスコミ各社へのPRや広報宣伝活動etc…仕事はキリなく続きます。

しかし、どんなに立派な資料が展示してあっても、お客様に来ていただかなければ、知っていただかなければ



接客をしながらいろんな作業をしなければなりません。「もーん父さん」のサイト作成中の学芸員研修生2人。

れば意味がありません。来ていただいたお客様に楽しかった、素晴らしかったと感じて頂き、リピーターを増やし、新規のお客様を増やす、これは施設としては大変重要なことです。

受付の応対から始まって、館内の雰囲気、清掃が行き届いているかどうかなど、すべてひっくり返して、どうしたらお客様は快適に楽しんでくれるのか、展示をもっとわかりやすくするためにはどうしたらいいのかを知る必要があります、それらが次のお客様のご来館につながります。

たとえば極端な話、お客様が、博物館に何が展示してあったか覚えてなくてもいいと私自身は思っています。お客様が博物館を思い出した時に「楽しかった！」という印象が浮かんだならば、まずはそれでOK。でも、そう感じて頂くために自らがお客様の声、表情、動きを感じなければ、わからないことであり、それを知るためには自らが前に出ていき経験するしかないのです。楽をしていたのでは良いものは出来上がりません。“座って研究していたのでは務まらない”というのはそういう意味です。

大きな施設ならスタッフの分業体制が整っているかもしれませんが、当館はそうではありません。自分が置かれた立場の中で、今何が求められ何をすべきなのか、仕事の優先順位が何か、イレギュラーにも迅速に対応できる「応用力」を身につけていくことが、次第にスキルアップにもつながります。

そんな中でも忘れてはいけないのは「自分も楽しみながら仕事をする」ことでしょう。笑顔が笑顔と呼ぶように、自分が楽しいとお客様も楽しんでくれるものです。すべての活動や努力は、点ではなく、線につながっており、それは今後、どんな仕事に携わったとしても言えることなのではないでしょうか。

(学芸員 小松美鈴)

26年7月・8月の博物館活動報告

第6回化学実験教室

7月20日(日)

今年で6回目を迎えた大好評の「化学実験教室」。今年も「消える絵&カラーマジック」、「シャボン玉を浮かべる!？」&「冷却パックを作ろう!」、「偏光板の実験&光るものを探そう!」の3つの実験を開催しましたが、各実験とも15名の定員オーバーの20名以上、3実験で延べ70人以上の子供たちが県内外から参加してくれ、

大盛況となりました。講師は東京開成学園の宮本一弘先生。いつものように優しくそして的確な解説指導に、子供たちはもちろん、保護者の方も楽しんでくれました。帰りには「来年も楽しみにしています」という声をたくさんいただきましたが、宮本先生もその反響に喜んでくださいました。

夏休み自由研究プロジェクト in 甲府アイメッセ

7月21日(月・祝)

毎年夏恒例、山梨県下の博物館美術館が集まって、小中学生の自由研究のお手伝いをする合同プレゼンテーションに、当館は出張砂金採りに参加しました。今年も多くの子連れで、

金山博物館ブースが大盛り上がりの中、博物館専属キャラ「もーん父さん」は初仕事。会場内を練り歩き、博物館をPR。記念撮影や握手をねだられ、「もーん父さん」も大人気でした。

第14回砂金掘り大会結果発表

7月26日(土)

例年、午前中に一般大会、午後には学生大会と1日のスケジュールで開催していた砂金掘り大会。今年は初の試みで、1日目に一般大会、2日目に学生大会と、2日間に分けての開催でした。日程的に参加者が例年より減少するかと思いきや、蓋を開けてみれば意外や意外、過去

最高の約200人が参加。炎天下、まさに熱い戦いが繰り広げられた一般大会の結果は次表のとおりです。今年ご参加いただいた皆さんはもちろん、新たな挑戦者もお待ちしております。みんなで「スポーツ砂金採り」を来年も楽しんでください。

「第14回砂金掘り大会」競技結果一覧

【ジュニアの部】

8粒 / 6kg															
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	安達 理沙	8	3,514.3	15	山田 優奈	7	9,141.7	29	吉田 秀哉	6	11,402.0	43	上原 千星	4	15,207.3
2	石井 肇大	8	4,043.7	16	三浦 碧斗	7	9,197.4	30	五味 奏雅	7	12,012.3	44	上原 千星	5	15,290.6
3	上田 ひなた	8	4,482.4	17	大作 孟暉	8	9,484.9	31	内田 空	6	12,276.7	45	吉田 幸弘	6	15,307.3
4	木村 哲平	8	5,374.0	18	山口 翔太	7	9,563.5	32	伊藤 瑠々子	6	12,280.1	46	戸田 百花	5	15,466.6
5	近藤 和真	7	6,306.9	19	飯内 光	7	10,130.0	33	加藤 なつみ	7	12,484.7	47	千代 葉々子	5	15,473.2
6	中塚 颯太郎	7	6,425.6	20	加藤 大音	7	10,265.4	34	小澤 颯子	6	13,137.3	48	福原 航聖	5	17,076.7
7	武田 来夢	8	6,431.2	21	卯月 承歌	7	10,260.1	35	飯野 千華	6	13,338.6	49	中村 貴	5	17,096.7
8	森山 景成	7	7,367.6	22	市村 美咲希	7	10,350.7	36	栗原 真希	6	14,025.4	50	長田 友聖	5	17,099.4
9	井上 祐希	7	7,403.5	23	佐藤 夏実	7	11,032.5	37	細小路 楓	5	14,033.2	51	松田 昂	4	17,275.6
10	井後 湧湖	7	7,407.1	24	和田 颯	6	11,060.1	38	正田 雄也	5	14,200.2	52	齋藤 幹	4	18,000.0
11	阪本 皓真	7	8,018.5	25	日比谷 元樹	7	11,130.8	39	鈴木 颯夫	6	14,210.9	53	菊 勇斗	3	18,186.8
12	磯藤 真江	7	8,068.2	26	宮沢 真大	7	11,235.7	40	杉山 祥	6	14,306.6	54	村上 颯太	3	18,302.9
13	成木 颯哉	8	8,474.9	27	井口 九ツ砂	6	11,373.1	41	齋藤 真哉	6	14,337.3	55	藤村 小町	5	18,357.6
14	村上 圭吾	8	9,050.2	28	大塚 啓生	7	11,383.4	42	桑代 和樹	4	15,001.5	56	遠藤 凛々	5	18,599.5

【初心者部】

7粒 / 10kg															
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	宮本 晃	7	4,088.5	16	鎌山 優美	5	11,324.1	31	磯本 大祐	5	13,309.4	46	中田 理紗子	5	15,853.5
2	梶野 裕太郎	7	4,276.6	17	内田 智希	6	11,328.4	32	赤池 浩	4	13,564.1	47	足立 朋之	3	16,381.7
3	福原 春樹	6	7,182.3	18	吉田 志吹	6	11,344.5	33	宮坂 隆志	5	14,281.1	48	駒川 友樹	4	16,527.2
4	田中 剛雄	6	7,306.3	19	井後 恭道	5	11,354.7	34	岡田 健太郎	4	14,287.4	49	久野 博	4	16,580.1
5	松川 ルナ	7	7,504.3	20	山口 葵	6	11,403.0	35	広田 裕男	5	14,437.1	50	宮原 大地	4	17,004.7
6	平野 遼大	6	8,076.1	21	藤 隆司	5	12,025.1	36	上田 唯弘	4	14,499.1	51	森田 健友	4	17,377.8
7	佐藤 精	6	8,110.0	22	藤谷 拓哉	5	12,044.0	37	遠藤 駿平	5	15,091.6	52	大塚 航平	4	17,562.9
8	大塚 颯	5	9,102.2	23	高野 心	6	12,200.9	38	金子 和也	3	15,193.1	53	河原 雄雄	4	18,153.9
9	丸岡 聖奈	6	9,374.1	24	山口 亮子	6	12,249.1	39	川原 悠	5	15,282.5	54	藤原 泰志	3	18,209.3
10	渡辺 清人	5	9,451.7	25	井上 智揮	6	12,285.2	40	青島 悠	4	15,367.6	55	藤本 葉々々	4	18,326.0
11	宮根田 賢蔵	5	10,463.1	26	岡崎 季	5	12,291.3	41	立花 ささき	5	15,379.5	56	吉田 明弘	4	18,365.2
12	廣田 穂子	6	10,472.1	27	佐野 備吉	5	12,446.2	42	溝畑 駿	4	15,480.0	57	後 さおり	4	18,495.6
13	石原 江理子	6	11,121.8	28	三浦 慶彦	4	12,459.4	43	丹羽 博美	4	15,469.9	58	金井 真空	4	18,539.5
14	新井 悠聖花	6	11,180.1	29	片山 悠聖花	6	12,547.1	44	木口 颯人	3	15,536.9	59	池 悠	4	18,577.8
15	松野 由紀子	5	11,298.7	30	小柳 紗彩	4	12,566.4	45	入月 流星	5	15,598.4	60	中谷 仁哉	2	19,136.2

【ベテランの部】

14粒 / 16kg											
順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)	順位	氏名	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	近藤 直美	14	9,422.9	11	井村 智子	10	20,522.0	21	安藤 大悟	8	31,095.9
2	松下 竜哉	13	11,463.1	12	鎌谷 清人	9	21,334.2	22	中川 清	6	31,464.4
3	木村 伸之	11	15,423.0	13	塚坂 健一	10	21,583.2	23	小宮 聖弘	4	37,261.6
4	森山 和正	11	16,542.0	14	宮田 成明	8	24,342.0	24	本間 和	3	39,424.0
5	広瀬 義樹	10	17,555.8	15	中村 幹一	10	25,589.0	25	鎌山 浩士	3	43,260.6
6	梅森 敏雄	10	18,333.5	16	成島 孝樹	8	27,005.9	26	野村 敏郎	1	45,533.5
7	松田 智	11	18,369.8	17	五十嵐 智弘	9	27,580.5	27	志村 瑞伽	2	44,160.9
8	立川 崇佳	12	19,119.8	18	山元 健樹	8	29,597.6	28	牛島 敏博	1	47,522.2
9	鎌山 雄	11	20,012.9	19	林 誠治	8	30,249.6	29	土橋 洋	1	47,690.0
10	大伏 弘樹	9	20,474.6	20	春山 崇	5	31,091.9	30	鎌山 凌太	1	51,361.2

【頂上決戦】

8粒 / 6kg				
順位	氏名	クラス	採集した砂金数	総合成績(分秒)
1	近藤 直美	ベテラン	7	6.3062
2	宮本 晃	初心者	4	9.0315
3	安達 理沙	ジュニア	4	14.5367



東西中高激突！『砂金甲子園』結果発表

7月27日(日)

一般大会の翌日、東西の中高が砂金掘りのテクニックで競った「砂金甲子園！」11年目を迎えた「東西中高交流砂金掘り大会」が、新たに桐朋中高の参加を控え、灘、開成学園、大妻中等高等学校、山梨学院大学付属、慶応義塾中等部、峡南高校全7校8チームで繰り広げられました。

団体戦・個人戦の得点制で行われる約120名の

生徒たちが繰り広げた熱いパンニングバトルの結果。個人戦では試合ごとにパンニング皿を統一する新ルールを導入。そんな勝負の行方は、灘と初参加の桐朋が同点1位となり、昨年優勝校峡南高校はなんと最下位！？という衝撃の結果に！引率の先生たちは苦節〇年に喜びあり、そして苦笑いあり…。そんな大会の結果は次のとおりです。

砂金甲子園！第11回東西中高交流砂金掘り大会【団体戦得点表】

(40粒 / 3kg) × 16

学校名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	掘り金合計	総合成績(分)	獲得点	BP (0.5p)	合計得点
灘	三嶋慶彦 3粒	中谷仁政 5粒	平野浩大 1粒	姫野将太郎 2粒	正田雄也 2粒	阪本皓貴 3粒	木口寛人 2粒	近藤和貴 3粒	中谷仁政 3粒	平野浩大 1粒	桑代和樹 1粒	姫野将太郎 3粒	三嶋慶彦 1粒	木口寛人 2粒	近藤和貴 2粒	阪本皓貴 4粒	35粒 23分28秒90	35粒/11位 38分28秒90	30点	3点	33点
開成学園	嶋本大祐 2粒	高田雄介 3粒	浜田航平 1粒	高田 晃成 1粒	金井勇樹 3粒	松永晃 2粒	大場啓生 3粒	江口峻平 3粒	渡邊社馬 1粒	井上智揮 2粒	社領航世 1粒	島津仁 1粒	下河原雄希 1粒	大塚航平 2粒	森田健友 3粒	岡田健太郎 2粒	30粒 29分52秒61	30粒/6位 59分52秒61	17.5点	0点	17.5点
山梨学院	志村留加 3粒	知アケカトル 2粒	瀧尾真江 2粒	森山晃成 1粒	田河響 1粒	三浦碧斗 2粒	和光佑佳 2粒	中澤柚月 2粒	加藤 マナ 3粒	矢ヶ崎花音 1粒	卯月秀樹 1粒	市村美咲香 3粒	矢崎 暁 1粒	飯野二千華 3粒	功刀天音 3粒	五味泰雅 2粒	33粒 25分20秒61	33粒/3位 46分20秒28	25点	2点	27点
大妻A	山下亮子 2粒	山口菜 0粒	荻原江理子 3粒	岡室季 3粒	松川ルナ 1粒	小柳紗彩 0粒	廣田桃子 0粒	伊藤環々子 2粒	佐藤夏実 3粒	山田優奈 3粒	井上祐香 1粒	安達理沙 1粒	小澤典子 1粒	栗原真希 1粒	小澤典子 2粒	25粒 25分36秒96	25粒/7位 70分36秒96	15点	2点	17点	
大妻B	丹羽博美 0粒	中田理紗子 3粒	藤本菜々美 2粒	上原千里 1粒	藤村小町 1粒	千代菜々子 2粒	細小路楓 2粒	比野瑞南 1粒	長田友恵 1粒	藤原三沙希 6粒	杉森優衣 0粒	及能麻衣 2粒	戸田百花 3粒	丹羽博美 2粒	藤本菜々美 1粒	29粒 24分12秒66	29粒/4位 59分38秒26	22.5点	2.5点	25点	
慶応義塾中等部	竹中康輔 1粒	泉勇斗 2粒	山口翔太 1粒	和田 聖 2粒	萩内光 0粒	鈴木麗央 3粒	杉山 祥 1粒	福原航史 3粒	館岡幹彦 2粒	遠藤 涼々 1粒	岩野 健人 3粒	高見絵葉菜 2粒	橋本和樹 2粒	井上創太 2粒	大作孟輝 2粒	村上陽太 2粒	29粒 26分38秒26	29粒/5位 59分38秒26	20点	1.5点	21.5点
桐 朋	宮本亮 2粒	宮原大知 2粒	溝畑 毅 1粒	川原 爽 1粒	木村哲平 2粒	宮本亮 2粒	宮原大知 2粒	溝畑 毅 3粒	川原 爽 1粒	木村哲平 3粒	宮本亮 1粒	宮原大知 3粒	溝畑 毅 1粒	川原 爽 2粒	木村哲平 2粒	宮本亮 3粒	33粒 24分22秒04	33粒/2位 45分22秒04	27.5点	2.5点	30点
峡 南	望月優華 2粒	村松恒平 1粒	堀内健也 0粒	深澤未来 2粒	林吉佳 2粒	井上佳希 1粒	鈴木健太 0粒	瀧田玲奈 1粒	新谷裕貴 2粒	市川 栞子 2粒	櫻田絵理香 3粒	深沢佳世 3粒	深沢みのり 1粒	望月優華 2粒	助川友樹 3粒	雨宮宇南 0粒	25粒 30分00秒00	25粒/8位 95分00秒00	12.5点	0点	12.5点

BP=0.5 / 全体数は40粒

【個人戦得点表】

【総合成績】

学校名	先鋒(6粒)	次鋒(7粒)	中堅(5粒)	副将(11粒)	大将(9粒)	合計得点	順位
灘	中谷仁政 : 5分48秒48 10点 6粒	平野浩大 : 17分32秒01 5点 3粒	三嶋慶彦 : 4分08秒19 13点 5粒	姫野将太郎 : 4分25秒74 13点 11粒	木口寛人 : 9分24秒18 8点 8粒	49点	2位
開成学園	嶋本大祐 : 21分17秒86 4点 0粒	大場啓生 : 10分46秒95 8点 6粒	井上智揮 : 10分19秒06 8点 4粒	岡田健太郎 : 10分40秒96 5点 10粒	森田健友 : 10分38秒26 7点 8粒	32点	7位
山梨学院	石井輝大 : 5分41秒88 11点 6粒	山元健留 : 16分59秒24 7点 3粒	小林直樹 : 7分18秒23 10点 5粒	後藤 穂香 : 7分00秒47 10点 11粒	立川梨佳 : 7分19秒24 11点 9粒	49点	2位
大妻A	安達理沙 : 8分34秒53 7点 5粒	井上祐香 : 17分00秒00 6点 4粒	山田優奈 : 13分19秒22 6点 3粒	廣田桃子 : 7分53秒67 8点 11粒	松川ルナ : 13分49秒76 5点 7粒	32点	7位
大妻B	細小路 楓 : 8分50秒89 6点 5粒	上原千里 : 9分27秒44 9点 6粒	藤本菜々美 : 13分42秒48 4点 3粒	田中理紗子 : 7分38秒32 9点 11粒	丹羽博美 : 7分27秒57 10点 9粒	38点	4位
慶応義塾中等部	竹中康輔 : 5分31秒18 13点 6粒	成木晴毅 : 9分08秒67 10点 6粒	村上圭吾 : 13分21秒23 5点 3粒	宮沢真太郎 : 19分55秒68 4点 7粒	日比谷元龍 : 16分53秒83 4点 6粒	36点	5位
桐 朋	川原 爽 : 6分32秒33 9点 6粒	宮原大知 : 5分59秒28 13点 7粒	溝畑 毅 : 11分21秒06 7点 3粒	木村哲平 : 5分50秒58 11点 11粒	宮本亮 : 6分38秒56 12 8粒	52点	1位
峡 南	入月涼星 : 14分48秒67 5点 3粒	立花さき : 19分48秒58 4点 3粒	遠藤 駿平 : 5分41秒36 11点 5粒	高野なつき : 7分59秒61 7点 11粒	宮川志吹 : 12分47秒95 6点 7粒	33点	6位
皿種類	タートル君	スクウェアパン	体験室皿	フラットパン	スチールパン		

※順位順に並べかえています。

第14回こども金山探険隊 隊員15名に修了証

8月2日(土)・3日(日)

今年は15人の隊員に保護者が加わった約40名のみなさんが、中山金山遺跡へ登り、そして2日間のすべてのプログラムを終え、隊員全員がこども金山衆認定証を受け取りました。

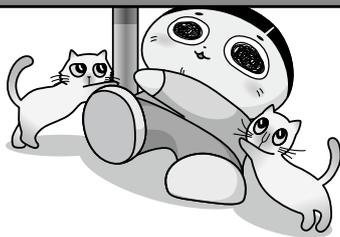
大人でも大変な山道を登るわけですが、今年も昭和山岳会、博物館応援団のご協力でも、無事に登山を終え、山の清掃活動も行いました。そして2日目も灰吹き、金メッキプレート作り体験など、2日目も応援団の皆様のご協力のおかげで滞りなく進めることができました。

修了証授与式では、谷口館長から認定証、「もーん父さん」から参加賞が手渡され、最後は

全員で記念撮影。お子様の笑顔の「大変だった」の一言や、保護者の方々の感謝の一言がスタッフ一同の力となり、原動力となりまた頑張ろうと感じます。今年も博物館を好きになってくれた人が大勢いますように。皆様ありがとうございました。



博物館事業のお知らせ



坑道探査ロボットを作ろう！ 工作教室参加者募集！

モノづくりやロボット工作が世間でもちょっとしたブームですが、金山博物館でもやっちゃいます！中山金山など全国の鉱山坑道調査で活躍している「遠隔操作型坑道調査ロボット」

のミニチュアを工作。本物と同様、横転してもアームを使って起き上がることができますよ。講師は当館ではおなじみ、松江工業高等専門学校(島根県)の久間英樹先生です。

■期 日：2014年9月27日(土) 10時～12時30分（1階多目的ホールにて）

■対 象 者：一般（小学生4年生以上～大人まで。小さいお子様は保護者同伴でお願いします）

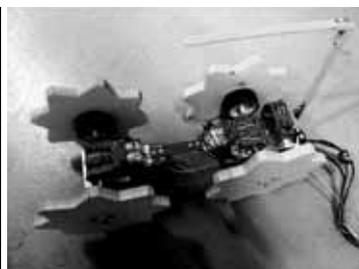
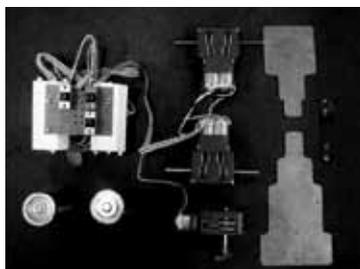
■募集人数：10名

■参加費：1,000円

すべてのお申し込み・お問い合わせは

TEL 0556-36-0015

FAX 0556-36-0003 まで



ミニチュア坑道探査ロボット

2014年11月20日(木)は展示観覧無料デー！

11月20日は「山梨県民の日」。博物館でも年に一回の特別感謝デーとして、この日、どなた様も**展示観覧無料**、**砂金採り体験は1割引き**でお楽しみいただけます。このお得な日をお見逃しなくご来館ください。「もーん父さん」にも会えるかもよ！

編 集 後 記

皆さん、2014夏を満喫しましたか？掲載記事にもあったように今年の夏は3週間連続イベント開催、さらに砂金掘り大会は2日間に分けて、さらに研修生がワラワラ…スタッフにとってはMAXめまぐるしい日程でした。そんな怒涛の夏が終わりましたが、無事に終わることが出来たのは多くの皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。誌面の関係上、今回大幅に写真が少なくて申し訳ないのですが、夏事業の様子はホームページでもUPしますのでご容赦ください。

開館時間：9月中は夏時間。10月からは冬時間（9時～17時・受付は16時半まで）。

休 館 日：毎週水曜日（祝日に当たる場合はその翌日） 時間をお確かめのうえ、ご来館ください。

博物館だより

第69号 平成26年9月1日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp